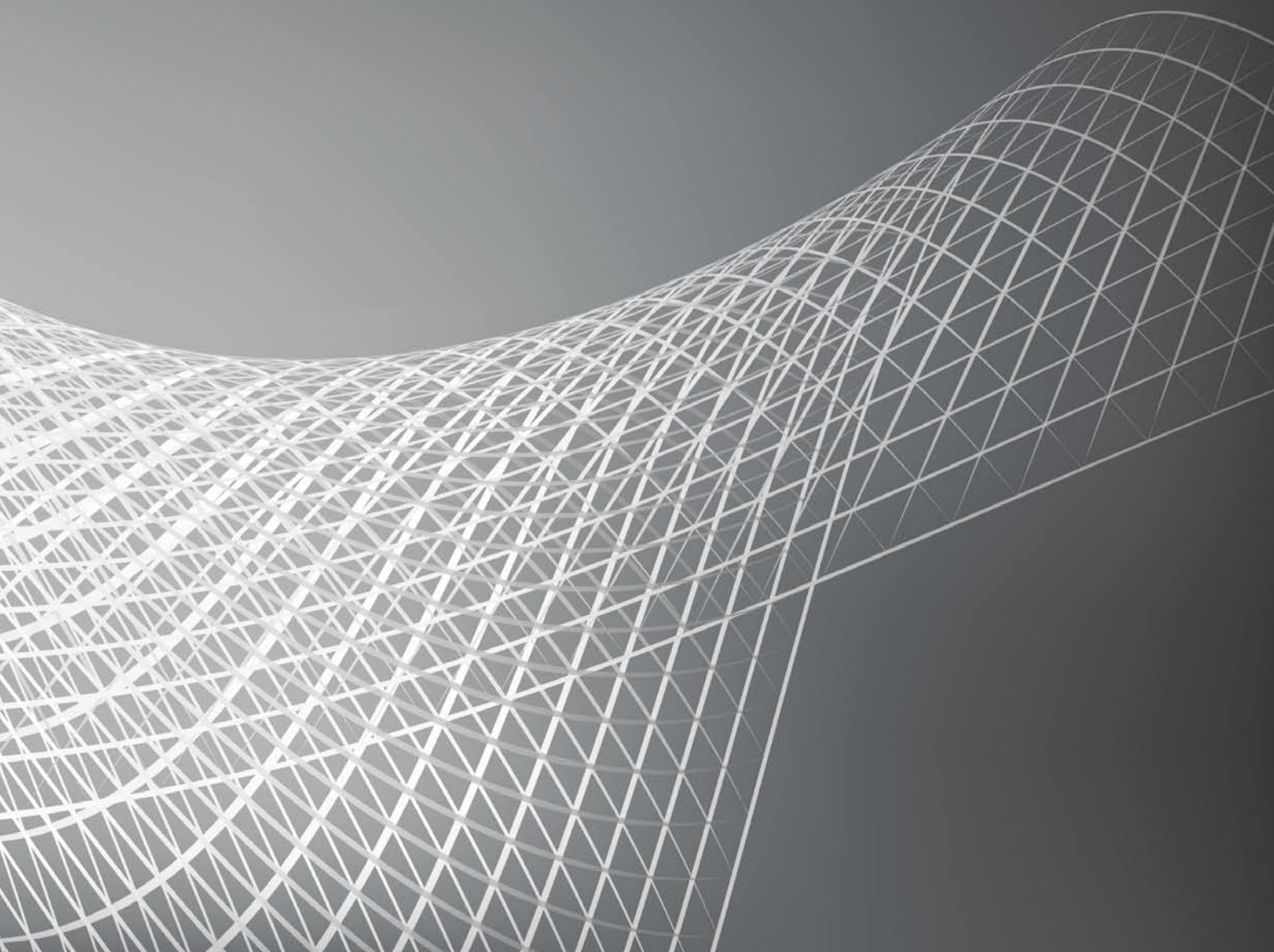


マイクロソフトの ビジネス インテリジェンス ソリューション

全社員の意思決定力を高めるビジネス インテリジェンスを
汎用的なソフトウェアの組み合わせで実現します。



不確実性がかつてないほど増大する "破壊的変化" の時代。 企業競争力を高めるには、 どのような BI が必要なのでしょうか。

企業活動に伴って発生する膨大なデータを、いかにして有効活用するか。
これは企業経営にとって重要な課題のひとつです。ビジネス データを戦略的に活用することで、
より適切な意思決定が可能になり、ビジネス上の競争力も高まるからです。
変化が激しく不確実性が増大する "ニューノーマル時代" には、その重要性はさらに大きくなるでしょう。
不連続な変化が続く環境では、社員一人ひとりの発想力が組織全体の瞬発力に直結し、
これが企業の競争力を左右するようになるからです。

このニーズに応えるのがビジネス インテリジェンス (BI) です。しかし BI を
単なる "データ分析システム" として捉えてしまうと、十分な効果を得ることはできません。
BI 導入で最も重要なのは、社員一人ひとりが膨大なデータから "インサイト＝洞察" を獲得し、
そのインサイトに基づいて適切な判断を下せるようにすることにあります。
経営者や企画部門はもちろんのこと、業務管理者や現場従業員に至るまで、
それぞれの役割に応じたインサイトが求められるのです。

そのためにはどのような BI が必要なのでしょうか。
マイクロソフトは以下の 3 要素を統合した BI が必要だと考えています。



だれでも自由自在に使えるセルフサービス BI

いかに高度な分析機能でも、専門家の助けなしには使えないのであれば、現場の洞察力を高めることはできません。あらゆる社員がインサイトを獲得するには、IT 部門などに頼ることなく手軽に使える "セルフサービス BI" が必要です。そのためには高度な分析基盤を、ユーザーが使い慣れたフロントエンド ツールと統合することが求められます。

インテリジェンスを共有・組織化できるワークプレイス

個人のインサイトを組織全体のインサイトへと昇華させるには、セルフサービス BI で得られたインテリジェンスを共有できる "ワークプレイス" が必要です。このようなワークプレイスを用意することで、意思決定力は組織横断的に向上し、組織の瞬発力も高まります。

信頼性と拡張性の高いデータ統合・集計基盤

"セルフサービス BI" を効率的に活用するには、インサイトの元となるデータ群をユーザーにとって使いやすい形で用意する必要があります。そのためには多様なビジネス データを統合・集計し、信頼性と拡張性の高いプラットフォーム上に格納しておくことが求められます。



これらすべての要素をワンストップでご提供するのが、マイクロソフトのビジネス インテリジェンス ソリューションです。このソリューションは、Microsoft® Office 2010、Microsoft SharePoint® 2010、Microsoft SQL Server® 2008 R2 という、汎用的なソフトウェアの組み合わせで実現されています。効果的な BI を実現するために、特別な製品を利用する必要はありません。この 3 製品を組み合わせることで、BI に求められるすべての機能が手に入るからです。

それでは具体的に、どのような機能が用意されているのでしょうか。

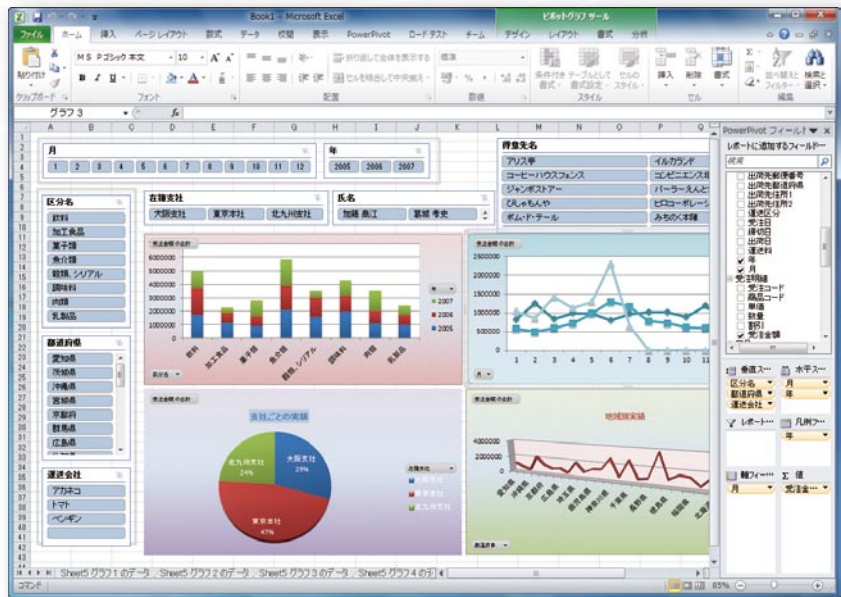
BI 実現に貢献する代表的な機能をご紹介します。

PowerPivot for Excel® 2010



使い慣れた Excel を活用して、データ分析を自由自在に行いたい。このニーズにお応えするために開発されたのが PowerPivot for Excel 2010 です。これは Microsoft Excel 2010 のアドオンとして提供されています。

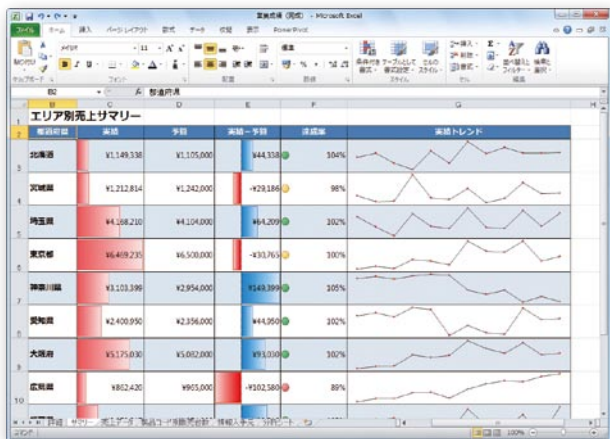
PowerPivot for Excel 2010 を利用することで、多様なデータソースから直接データを取り込み、ピボットテーブルで自由自在に多次元分析・多次元集計できるようになります。分析のために作成されたデータ構造（スター スキーマ）は PC のメモリー上に圧縮された形で展開されるため、大容量データの操作も軽快に行えます。



スパークライン



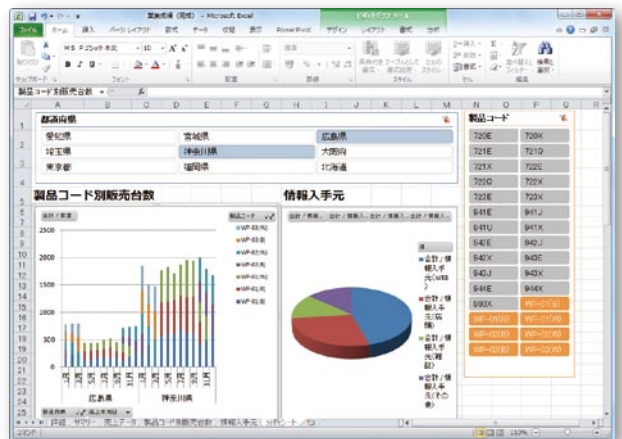
時系列の傾向分析などを直感的に行いたい場合には、数値データをグラフ化するのが効果的です。しかし対象となるデータ系列が多い場合には、ひとつのグラフにすべてのデータをプロットすると、グラフが見えにくくなるため実用的ではありません。「データ系列毎のグラフを簡単に作成したい」。このニーズにお応えするのがスパークラインです。スパークラインは同一行に並んだデータの簡易なグラフを、Excel の 1 セルの中に表示します。これによって複数のデータ系列の傾向を、ひとめで把握しやすくなります。



スライサー



「特定の条件に合致するデータだけを表示したい」という要求は、データ分析の現場で頻繁に発生します。これは Excel 標準のフィルターでも行えますが、スライサーを活用すれば操作性をさらに高めることができます。スライサーはフィルター機能をボタン型のインターフェースで提供するものであり、クリックするだけで複数のテーブルやグラフにフィルターをかけることができます。



What If 分析



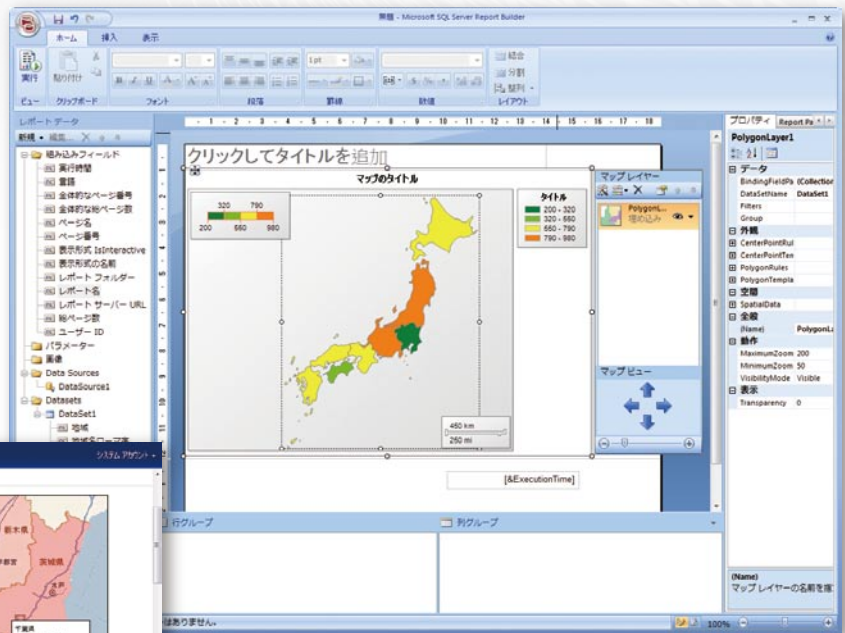
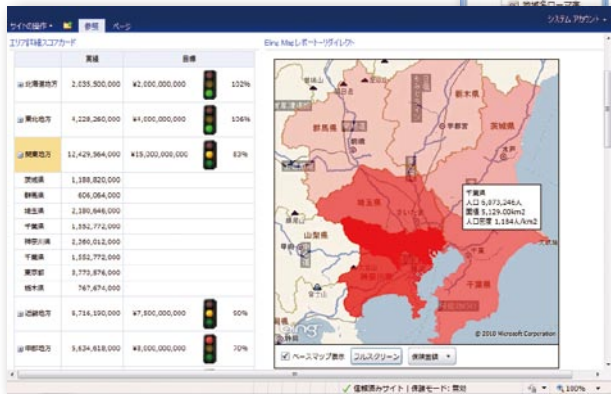
Excel のピボットテーブルから SQL Server Analysis Services の多次元データベースに対し、値を直接書き戻す機能です。明細レベルの値を書き戻せるのももちろんのこと、集計レベルの値も書き戻すことができます。集計レベルの値を書き戻した場合には、比例配賦や均等配賦、数式に従った配賦などによって、明細レベルの値も自動的に更新されます。これによってトップレベルのシミュレーションやプランニングを、手軽に行えるようになります。

SQL

Reporting Services/レポートビルダー



Microsoft Office と同様のユーザー インターフェースを備えたレポート作成ツールです。ユーザーは複雑な帳票プログラムの知識はもちろんのこと、データが保存されている方法や場所についても知っている必要はありません。使用するデータの意義さえ理解していれば、グラフィカルなレポートを簡単に作成できます。地図オブジェクトや Bing Maps for Enterprise など、地理空間データと連携させたレポート表現も可能です。

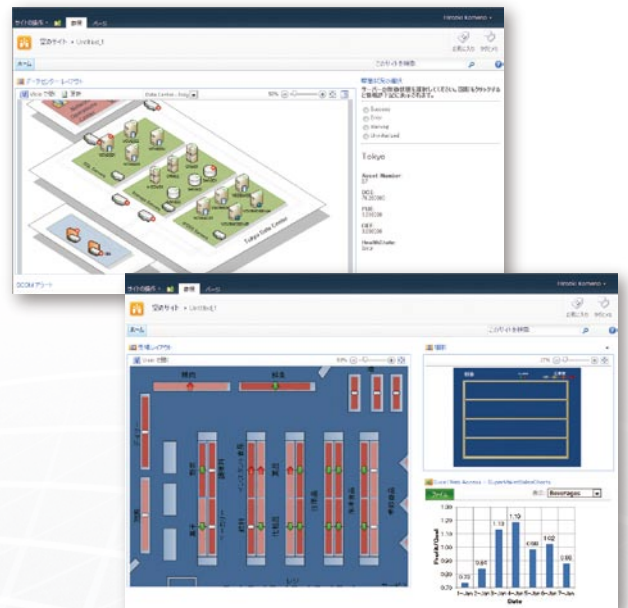


Office



Microsoft Visio®

Microsoft Visio は複雑なビジネス プロセスを効果的に可視化するツールとして広く認知されていますが、これを BI のフロントエンドに活用することで、表現力をさらに高めることができます。Visio で作成したチャートは単なる「図形」ではなく、各種外部データとの連携も可能だからです。外部データが変更された場合には、Visio チャートにも自動的に反映されます。またピボットダイアグラムを活用すれば、データ分析やドリルダウンなどもグラフィカルに行えます。ピボットダイアグラムを地図と組み合わせることも可能です。



PerformancePoint Services



Microsoft SharePoint Server 2010 が提供する、ビジネス監視・分析用のパフォーマンス管理サービスです。スコアカードや分析レポート、主要業績評価指標 (KPI) などを表示するダッシュボードを、使いやすいツールで作成できます。またユーザーの業務内容やレベルに応じたパーソナライズも可能です。戦略情報へのシングル アクセス ポイントを用意することで、組織の戦略や現状が俯瞰的に理解しやすくなり、問題の発見も迅速化されます。

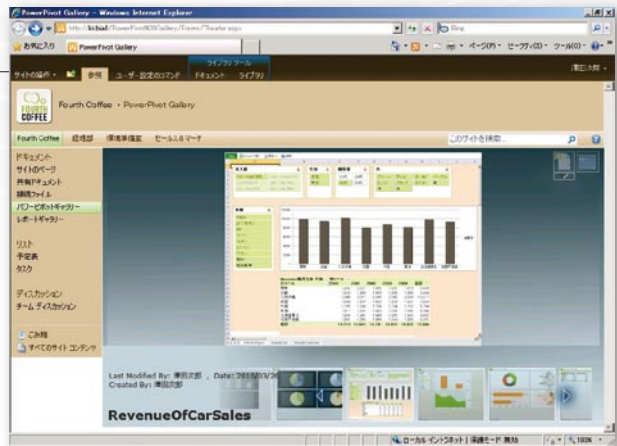


PowerPivot for SharePoint



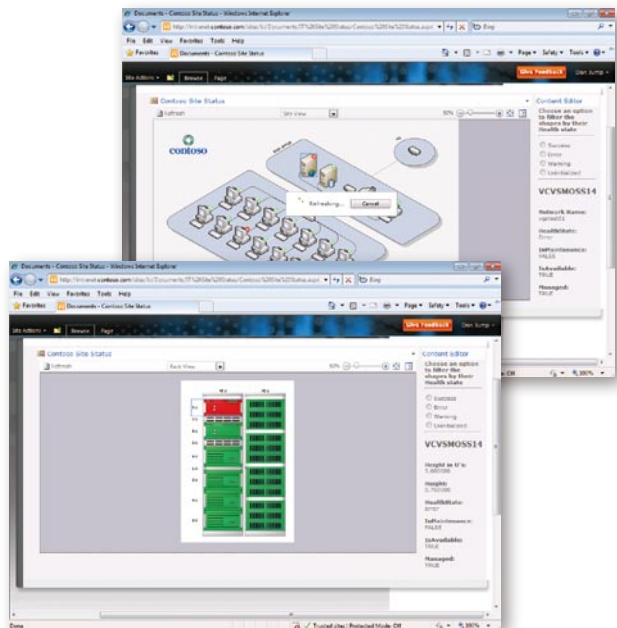
PowerPivot for Excel で作成した PowerPivot ワークブックを簡単に共有できる、Microsoft SharePoint 2010 のアドオンです。Web ブラウザーからアクセスできるため、Microsoft Excel 2010 がインストールされていないクライアントでも、PowerPivot ワークブックを活用できます。また PowerPivot ワークブックのデータ構造はサーバーのメモリー上に展開されるため、分析対象のデータをクライアントにダウンロードする必要がありません。そのため PowerPivot for Excel と同等の軽快さでデータ分析を行えます。

SharePoint の機能と統合されているため、ユーザーの役割に応じたアクセス制御やワークフローもサポートされ、コンプライアンスに準じたセキュアな利用が可能です。またチェックイン/チェックアウトやバージョン管理によって、複数ユーザーによる分析や共同作業も安全かつ効率的に行えます。



Visio Services

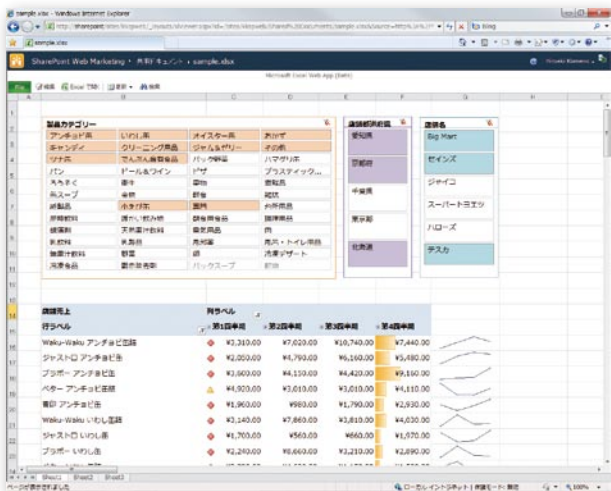
Microsoft SharePoint 2010 のサーバー上で実行される Visio エンジンです。Microsoft Visio で作成したチャートやピボットダイアグラムを、動的な Web ページとして表示できます。表示される要素は単なる図形ではなく、Visio のシェイプとしての情報を保持しているため、Visio ならではの対話的な操作が可能です。シェイプとリンクしたデータのリアルタイム更新もサポートしているため、そのままデータ分析のフロントエンドとして活用できます。



Excel Services



Microsoft SharePoint 2010 のサーバー上で実行される Excel エンジンです。関数やデータベース接続までカバーした Excel の基本機能を、動的な Web ページ上で再現しています。そのため Excel がインストールされていないクライアントからでも、Excel で作成したデータ分析用テーブルを簡単に活用できます。また高性能なサーバーの計算能力を関数計算に利用できるため、分析スピードを高めることも可能です。PerformancePoint Services のデータソースとしても利用できます。



グラフ Web パーツ

グラフ Web パーツを利用すれば、データ分析で作成された各種グラフを SharePoint 上でレンダリングし、Web パーツとして Web ブラウザーに表示できます。これは Office Web Components (OWC) の後継機能であり、既に OWC と同等のパーツバリエーションが用意されています。

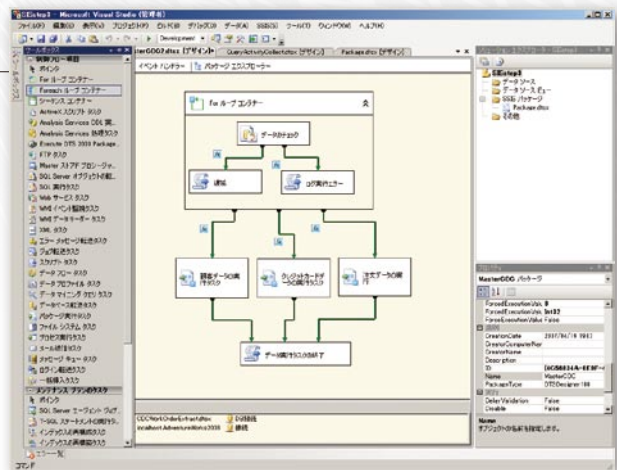


Integration Services

SQL



BI を効率的に行うには、社内の多様なデータを統合する必要があります。そのためのエンタープライズ ETL (Extract/Transform/Load) 機能を提供するのが Integration Services です。この機能を活用することで、さまざまなシステムやデータベース、ファイルに含まれるデータを抽出・変換し、標準化されたデータとしてデータ ウェアハウスにロードできます。データの抽出・変換・ロードの処理フロー設計は、標準で提供されている GUI ツールによって直感的に行えます。

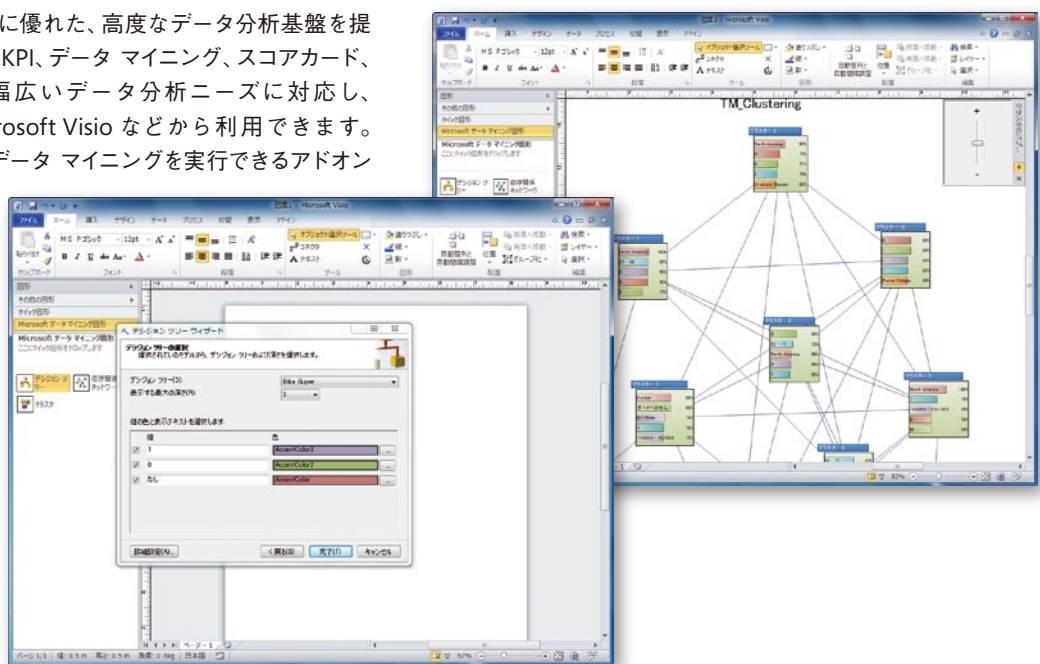


Analysis Services

SQL



柔軟性とパフォーマンスに優れた、高度なデータ分析基盤を提供します。OLAP 分析や KPI、データ マイニング、スコアカード、レポートなど、幅広いデータ分析ニーズに対応し、Microsoft Excel や Microsoft Visio などから利用できます。Excel から数ステップでデータ マイニングを実行できるアドオンや、Visio 用のデータ マイニング テンプレートも無償で提供されています。



Reporting Services/ BI Development Studio

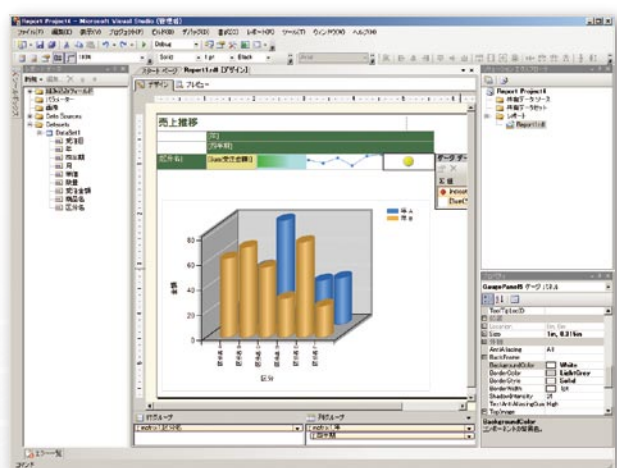
SQL



複雑なレポート作成を支援する開発者向けツールです。Microsoft Visual Studio® 2008 ベースの統合開発環境によって、プロジェクトを使ったレポート/モデル開発を効率的に行えます。レポート ビルダーと同様に、さまざまなデータ ソースから直接レポートを作成でき、レポート用パーツも多彩なものが用意されています。標準で利用可能なレポート用パーツとしては以下のものがあります。

- 2 次元グラフ
- 3 次元グラフ
- ゲージ
- マトリックス
- Tablix (テーブル形式とマトリックス形式を統合したもの)

レポートへのアクセス制御はユーザーやグループ毎に設定でき、作成したレポートのエクスポートもサポートされています。また SharePoint テクノロジーとも統合されており、コラボレーション ワークプレイス上でのレポート/モデルの一元管理も可能です。



最新情報は、<http://www.microsoft.com/japan/solutions/bi/> をご覧ください。

- Microsoft、Access、Excel、Office ロゴ、Server ロゴ、SharePoint、SQL Server、Visio、Visual Studio は米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
- その他記載されている、会社名、製品名、ロゴなどは、各社の登録商標または商標です。●製品の仕様は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- このカタログの内容は、2010 年 4 月現在のものです。

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

- インターネット ホームページ <http://www.microsoft.com/japan/>
- マイクロソフト カスタマーインフォメーションセンター **0120-41-6755** (9:30~12:00、13:00~19:00 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)
- マイクロソフト ボリュームライセンス コールセンター **0120-737-565** (9:30~12:00、13:00~19:00 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)

※ 電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

ご購入に関するお問い合わせは、マイクロソフト認定パートナーへ。

- マイクロソフト認定パートナー <http://www.microsoft.com/japan/partners/>

Microsoft®

マイクロソフト株式会社

〒151-8583 東京都渋谷区代々木 2 丁目 2 番 1 号 小田急サザンタワー

1666-NOC1